

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成26年10月23日 (2014.10.23)

【公開番号】特開2013-156650(P2013-156650A)

【公開日】平成25年8月15日 (2013.8.15)

【年通号数】公開・登録公報2013-043

【出願番号】特願2013-72187(P2013-72187)

【国際特許分類】

G 0 2 F 1/365 (2006.01)

H 0 1 S 3/067 (2006.01)

H 0 1 S 3/10 (2006.01)

G 0 2 B 6/02 (2006.01)

【 F I 】

G 0 2 F 1/365

H 0 1 S 3/06 B

H 0 1 S 3/10 Z

G 0 2 B 6/10 D

G 0 2 B 6/16

【誤訳訂正書】

【提出日】平成26年9月5日 (2014.9.5)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 5 3

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【 0 0 5 3 】

初期パルスが変換限界であると、自己位相変調パルスが変換限界近くまで圧縮され、この比が圧縮ファクタである。したがって、第 6 実施形態（図 6）では、マイクロチップレーザが滑らかな時間プロファイルを与える単一縦型 Nd : パナジン酸塩光源である。パルス幅は、250 ピコ秒である。圧縮ファイバ 62 の一つの解は、モードフィールド径 5.9 μm 、NA 0.12 をもつ標準的なシングルモードファイバである。この圧縮ファイバの長さは、圧縮率約 50 の場合、約 2 メートルである。マイクロチップレーザからの出力エネルギーは、10 マイクロジュールである。